

平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

11月25日（月）、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸大使と被供与団体2団体（コンポンチャム州チューンプレイ保健行政区及びプラン・インターナショナル・カンボジア）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。



コンポンチャム州チューンプレイ保健行政区が実施する案件では、チューンプレイ病院の既存病棟1棟を2階建ての総合病棟に改築し、併せて医療用ベッドや椅子等の機材の設置を支援します。改築予定の病棟には、今まで集中治療室及び処置室がなく、最低限の治療と小規模な手術しか行うことが出来ませんでした。本案件の実施により提供される医療サービスの質が改善されることが期待されます。本案件実施により、チューンプレイ病院が管轄するチューンプレイ郡及びその周辺地域の住民約20万人の医療サービス環境が改善されます。

プラン・インターナショナル・カンボジアが実施する案件では、人口約6,400人の農村地域であるシェムリアップ州バンテアイスレイ郡クンリヤムコミューン中心部に保健センター1棟を建設し、医療用ベッド等を含む医療用機材を整備します。現在、右コミューンから一番近い保健センターは約10キロ離れており、交通アクセスが悪いことから、住民は十分な医療サービスを受けることが出来ません。住民は村の伝統医術師及び伝統助産師に頼らざるを得ない中、適切な処置が行えないことが多く、妊産婦及び乳幼児死亡率の改善が難しい状況にありました。本案件実施により、クンリヤムコミューン及び周辺地域住民がすぐに治療を受けることが出来る環境を整備すると共に、母子保健の改善を図ります。



式典では、隈丸大使がスピーチを行い、本事業で保健施設が建設されることにより、住民に提供される医療技術の質が向上し、医療サービスへのアクセスが促進されること

が期待されると述べました。また、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、被供与団体2団体の各代表がそれぞれスピーチを行い、日本国民及び政府への感謝の意を表明すると共に、住民の健康増進に資することを目的として、コミュニティと協力しながら患者優先の質の高い医療サービスの提供に努めることを約束しました。

